

修士論文発表タイトル（正式版）

氏名

所属（研究科・専攻・研究室など）

202X 年 X 月 X 日 修士論文発表

発表の構成

- 本研究が対象とする問題領域の概要
- なぜこの問題が重要なのか（応用先・理論的意義など）
- 現状の課題（何がうまくいっていないか）

本研究の目的

- 解決したい具体的な課題
- 本研究で目指すゴール
- ゴールを達成するための基本的なアプローチ

- 代表的な既存手法 A
- 代表的な既存手法 B
- それぞれの長所・短所

本研究の位置づけ

- 既存研究と比較したときの本研究の立ち位置
- 本研究が埋めようとしているギャップ
- 想定する利用場面・貢献のイメージ

- 扱う対象（データ、空間、確率分布など）
- 変数や記号の定義（必要最小限）
- 最終的に求めたいもの

$$\min_{x \in \mathbb{R}^n} f(x)$$

提案手法の概要

- 提案手法のアイデア（直感的な説明）
- 手法の流れ（アルゴリズムのステップなど）
- 既存手法との違い・改良点

- 主要な定理または命題
- その定理が保証する性質（収束性、バイアスの減少など）
- 証明のアイデア（詳細は論文参照）

- 使用したデータセットやシミュレーション条件
- 比較対象とした既存手法
- 評価指標と実験の目的

実験結果の例

- 代表的な図・表の説明（詳細は論文参照）
- 提案手法が優れている点 / 劣っている点
- 結果から得られる考察

本研究のまとめ

- 本研究で扱った問題と目的
- 提案手法／結果の要約
- 本研究の貢献（理論・応用の両面）

- 本研究の限界（前提条件、スケーラビリティなど）
- 今後検討したい拡張・改善案
- 将来的な応用の可能性

- 指導教員・共同研究者への謝意
- データ提供・助成金などへの謝意

ご清聴ありがとうございました

ご清聴ありがとうございました。
ご質問をお受けします。